

文部科学省

地域との協働による高等学校教育改革推進事業

【グローバル型】

全国サミット

山梨県立甲府第一高等学校探究科

発表者 探究推進主任 石田泰道

2023年 1月17日(火)



Boys, be ambitious!

本日の内容

- ①本校の取組、事業
- ②学校設定科目「グローバル探究」の取組
(研究開発したカリキュラム等の研究成果)
- ③研究成果(コンソーシアム構築における成果)
- ④今後の展望(事業終了後の取組、自走の方向性)

Boys, be ambitious!



①本校の取組、事業

・山梨県立甲府第一高等学校

県下一の伝統校であり、県内唯一の探究科を持つ高校として、世界的な視野で考え、地域に貢献する人材や日本をリードする人材を育成し自ら考え行動する自主自立の精神を育みながら学習にも部活動にも励む文武両道を実践していく生徒が集う学校を目指している。

校是:「Boys be Ambitious」「苟日新 日日新 又日新」「贊天地之化育」

・平成28年度

本校の専門教育学科「探究科」は英語科から改編され2学級設置される。

現1年生は7期生となる。4期生までが卒業して各方面で活躍している。

・平成26年～30年(5年間)

文部科学省SGH(スーパーグローバルハイスクール)指定

・令和元年度(1年間)

文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」

・令和2年度～4年度(3年間)

文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)」

Boys, be ambitious!



地域との協働による高等学校教育改革推進事業の目標

▶キャッチコピー

「やまなし創世」に資するグローバルリーダーの育成

▶目標

グローバル人材に必要な能力を育む体制やプログラムを構築する

▶探究活動を通じて

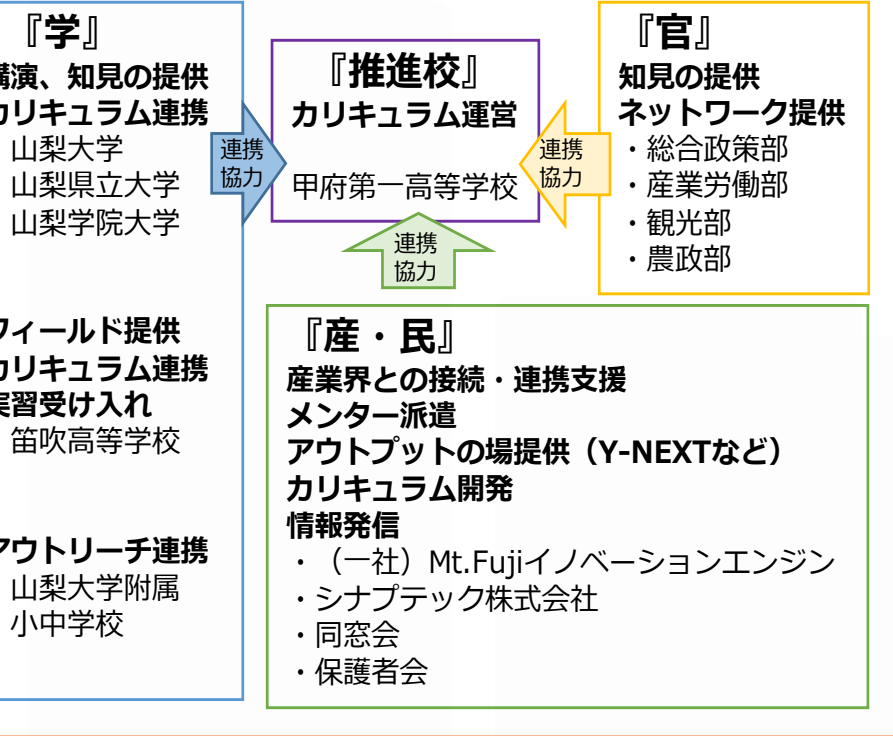
課題発見力 論理的思考力 創造力 コミュニケーション力 発信力
などを育成

Boys, be ambitious!



コンソーシアムの構成

やまなし創世に資するグローバルリーダーを育成するために、
 ・甲府第一高校を推進校とした産学官民のコンソーシアムを構築
 ・オール山梨で取り組む体制を構築



管理及び指導
 ・山梨県教育委員会 ・運営指導員会 ・コンソーシアム推進協議会

対象学科の生徒数				学校全体の生徒数				
1年	2年	3年	計	学科	1年	2年	3年	計
70名	70名	80名	220名	探究科	70名	70名	80名	220名
70名	70名	80名	220名	普通科	180名	200名	200名	580名
				合計	250名	270名	280名	800名

研究開発の目標

研究開発の背景
 少子高齢化、急激な人口の減少 中心部の空洞化、都市の拡散、事業所数の減少
 やまなし創世に資する人材＝グローバル人材の育成が必要

目標：『グローバル人材に必要な能力を育む体制やプログラムを構築する』
 必要な能力「課題発見力、論理的思考力、創造力、コミュニケーション力、発

研究の流れ	研究概要
①多様な担い手によるコンソーシアムを構築する（左記） ②ワークショップ等にて各種課題を出し合い、課題を生徒主体で設定する ③明確化された課題に対して、コンソーシアムでチームを編成、連携しながら解決策について探究。必要なスキルを「学校設定科目」（下記）と連携しながら取り入れる（カリキュラム化を検討） ④PoC（概念実証）を行い解決に向けた取り組みを行う ⑤成果については校内外で発表を行う ⑥PDCAサイクルを回し、カリキュラムの見直しを行う	

展開のイメージ	アウトプット（学内外）	アウトカム
インプット 上記研究の流れ	・国際未来探究フォーラム ・成果発表会 ・提案発表会（Y-NEXT等） ・各学会 ・留学（トビタテJAPANへの応募等）	・グローバル人材育成に資するカリキュラムの構築 ・持続可能な運営体制の構築 ・連携企業の新規事業の創出 ・政策提言 ・留学生の増加等

学校設定科目（グローバル探究ⅠⅡⅢ）における流れ

1年次	2年次	3年次
「グローバル探究Ⅰ」 ・山梨県政策レクチャー ・基調講演（農林水産省） ・農業実習（笛吹高校） ・連携大学講演 ・グローバルセミナー ・課題の設定・調査研究 ・海外姉妹校共同調査	「グローバル探究Ⅱ」 ・調査研究・検討（地域との協働、SDGsを視野に） ・連携大学講座 ・海外での発表（討論会） ・イングリッシュキャンプ ・「コミュニティサイエンスプログラム」の実施	「グローバル探究Ⅲ」 ・探究の深化と総括 ・論文作成及び投稿 ・自治体・企業への政策提言等

◎各年次において成果発表会実施

②学校設定科目「グローバル探究」の取組について

▶社会課題の設定

上位課題（世界レベルの課題）



探究上位課題にはSDGsを設定し、探究が社会貢献に寄与できることで自尊の念を育てます。

中位課題（日本／山梨レベルの課題）

下位課題（地域／個人レベルの課題）

下位課題を解決するための「問い」

Boys, be ambitious!



学校設定科目「グローバル探究」 活動の骨格

- 1年次** 前期は「農」という題材にこだわり、各種講演会等によって探究ノウハウの習得。
後期からは各探究班に分かれて主体的な活動に移行し、ポスターで成果をまとめる(ポスターセッション)。
- 2年次** 原則1年次の班で本格的な探究スタート。
実地調査の励行、コンテスト応募は必須。
後期からは探究内容を英訳し、研修旅行先でプレゼンするとともに、パワーポイントにて成果をまとめる(英語PPTプレゼンテーション)
- 3年次** 論文とポスターと作成し、提案活動(ファイナルプロポーザル)にて探究活動を締めくくる。

各探究班には、探究顧問(2年生には英語顧問も)を配置

各年度末には「山梨ブランドサミット」(全校行事)という成果発表会を開催し、成果を校内外に発信する。

Boys, be ambitious !



1年次コンテンツ

(前期)

- ・ ウェルカムキャンプ・・・「問いのたて方」「探究方法」「NIE」講座
- ・ 各種講演・講座（+ディスカッション）
農林水産省基調講演、「農」シンポジウム、
グローバルリーダー育成セミナー、
県政策講座、SGDs 基調講演、グローバルセミナー、
取材論、プレゼンセミナー等
- ・ 「農」壁新聞発表会等各種プレゼンテーション
- ・ 県内外の企業訪問（年3回）
- ・ 一探未来フォーラム、
- ・ サイエンスダイアログ
- ・ 中国語講座、エネルギー研修（希望者）



(後期)

- ・ グループに分かれて探究活動開始
- ・ 実地調査、インタビュー活動
- ・ 校内ブランドサミット
- ・ 企業人（コンソーシアム）メンターブラッシュアップ
- ・ 山梨ブランドサミット

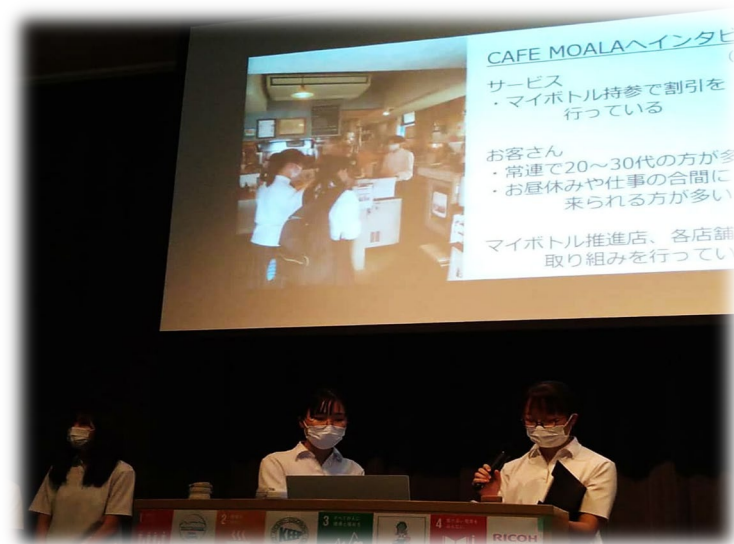


Boys, be ambitious!



2年次コンテンツ

- ・SDGsを視野にグループで調査、探究（プランニング）
- ・実地調査・取材活動（コンソーシアムと協働）
- ・コンテスト等への応募
- ・一探未来フォーラム
- ・サイエンスダイアログ
- ・中国語講座、エネルギー研修（希望者）
- ・イングリッシュプレゼンテーションセミナー
- ・セブ島研修（本年度は国内）
- ・校内ブランドサミット
- ・山梨ブランドサミット



3年次コンテンツ

- ・プランを深化させ、探究成果をまとめる
- ・自治体・企業等への提案活動
（イベントの開催）
- ・論文、ポスターの作成
- ・山梨ブランドサミット



Boys, be ambitious!



探究手引書「グローバルパスポート」の開発



Boys, be ambitious!



③研究成果（コンソーシアム構築における成果）

コンソーシアムや、コンソーシアムから波及した
任意団体との協働事業例

Boys, be ambitious!





3年12班（プラガール）の取組

「プラスチック問題解決に向けたマイボトルの普及」

山梨県内の総合情報サイトPORTA（ポルタ）と協働してマイボトルの開発



PORTAとの共同開発に向けた話し合いと完成したオリジナルマイボトル

Boys, be ambitious!





3年7班の取組

「子ども食堂を使った母子家庭の支援について」



地域包括連携(子どもの貧困)の課題に取り組み、子ども食堂、食材を配布するフードパントリー、ひとり親世帯を対象としたキャンプへの参加や子どもサミットの開催等が評価され、「やまなしの福祉1月号」で特集される。

Boys, be ambitious!





3年6班の取組

山梨県北部に残る信仰の道「御嶽古道」について～
コンソーシアムである県立大学とのコラボレーション



10月14日
山梨県立大学国際政策学部において
講義を行う

Boys, be ambitious!



2年4班（むすび）の取組

棚田資源とおむすびによる食の未来を見据えた取組
 県農政部、市農林振興課、NPO法人棚田保存会、企業との協働事業



棚田を知るために
 「棚田のオーナー」になっています！



稲刈り

田植え祭り

地元農家、県、市、
NPOとの打ち合わせ



テレビ東京主催「CHANGE MAKER U18」
決勝大会出演

結ぶプロジェクト
 第2弾 収穫祭
**天にとどけ!
 おむすびの味!!**
 収穫したての御嶽棚田米食って
 天の田の神様にうまさを絶叫せよ!

日時 令和4年11月27日(日) 12:00 翌日終了
 場所 早稲町公民館 御嶽棚田
 参加料 無料(当日はお昼をずかしてきてください)
 地元産の良材を使った飯汁の飲み出し会も予定!

収穫祭



開発したおむすび



▶ コンソーシアムを通じた探究活動が「社会を知る」 きっかけとなる

○自分たちの知らない職業や社会のしくみ、社会問題について知る



◎自身の将来や進路を考える参考になる。

◎大人の視点をもつようになる。

▶ 探究活動はこれからの「学び」であることの再確認

○学んだことを知識としてもつことがゴールではない。これからの社会では物事や課題に対して、さまざまな考え方の切り口を獲得することが大切。



◎課題発見力、論理的思考力、創造力、コミュニケーション力、発信力

◎一般的な知識、教養の他にも、分析力、思考判断力、発想力、
情報活用力、・・・大学や社会で必要な力やスキルが習得できる。

Boys, be ambitious!



④今後の展望（事業終了後の取組、自走の方向性）

課題

- 探究を深化させる高度な学びの提供
- 国際交流の機会の減少
- 英語で議論する力の育成
- 教員間での目的やノウハウの共有

中長期目標

- 個別最適化した高度な学びの提供
- 国境を越えた探究の実践
- 高校生国際会議の実施
- やまなし創世ネットワーク創設

具体的な取組

- 従前のコンソーシアム・連携校の連携を継続構築し、探究の深化を図る。
- 国内外の連携校拡大と高校生国際会議の実施
- SPARC【山梨大学、山梨県立大学】との連携／オンライン講座の活用
- PENTAS【山梨県立大学】との連携（アントレプレナーシッププログラムの導入）
- SDGs を共通テーマにした課題研究
- 探究活動のデータベース化（これまでの実績・ノウハウの共有）

イノベーティブなグローバル人材の育成

Boys, be ambitious!

